

令和5年度 事業報告書
左京東部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

- ・2024 年 1 月 30 日に研修会を実施（左京西部、東部合同）
- ・事業に関わる職員については、別途個別に研修を実施

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
440	379	414	391	395	429	446	458	395	332	401	435

(年間)

4915 件（前年度比 78.5%）

イ 利用状況

- 利用件数、利用時間数共に前年度比で 22%減少した。新型コロナウイルス対応が 5 類への移行したことを受け、大学生がコロナ前と同じ状況で学校施設が利用できることになり、大学生の利用が大きく減ったためと考えられる。

ウ 利用促進に向けた取組

- SNS を定期的かつ頻繁に発信することにより、センターの認知を高めた。
- センターを紹介するチラシを作成し、施設に配布するとともに、演劇公演等の催しで、来場者に配布した。
- 事業と連動し、事業出演者の練習のための利用増加を来場者にチラシを配布するなどしてセンターの周知を図った。

エ その他

- サロンの自由利用者の減少は止まらず、前年度比で 32%(68%減)と昨年度にまして大きく減少することとなった。定期的に来られていた方のほとんどが施設に入っしまい、通えなくなったことが大きな理由と考えられる。占有件数は前年度比で 113%と前年を上回った。コロナの 5 類移行を受けて地域活動等が復活したためと考えられる。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- SNS を定期的かつ頻繁に発信することにより（週 5 日発信）、センターの認知を高めた。X（旧 Twitter）は発信力が徐々に拡大し、フォロワー数も年間で 80 名増加した。
- 事業と連動し、社会活動に取り組む方にインタビューを行い、冊子にまとめるとともに、インタビューを映像にまとめ、web で発信した。冊子は京都市内の施設に広く配布した。

イ 取組の効果

- 特にサロン活性化事業への関心が高まり、各回盛況となった。

(4) 管理運営

- 消防設備・建物の点検を実施するとともに、不備箇所について修繕を行った。日常的に清掃を行い、年数回大掃除。植栽の手入れ備品等の保守点検、修繕等を実施した。

(5) その他

- 昨年度に引き続き、サロンの活用事業などで学区社協および隣接する錦林保育園と連携し事業を実施した。団地再生計画が進む中、まちの記憶をアーカイブするため大谷大学社会学部と共同で地域の住民に聞き取りを行った。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み1 『多様な交流の促進事業』（市民活動支援・活性化事業）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 開催日時：令和5年5月3日16時、4日14時および18時30分 等 |
| 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 集会室 |
| 3 参加人数： 381名 |
| 4 協力団体等： T-position Ballet 等 |
| 5 予算： 1,964,900円 / 決算： 1,922,742円 |

1 事業内容

○左京東部いきいき市民活動センターを、利用団体、地域団体などとの交流の場として機能させる目的で文化交流事業を開催した。「新緑の文化祭」「秋の文化祭」「春の文化祭」と題して年3回、センタ利用者による多ジャンルの音楽、ダンス、演劇、落語など多彩な催しを実施した。中学生からシニア世代まで幅広い世代が参加し、レベルの高い演奏などを実施した。出演者どうし、観客を交えて楽しい交流の機会を創出した。

○この文化祭を通じ今年も各団体と連携して情報を発信した結果、幅広い宣伝効果があった。

2 準備段階での工夫

○今年もセンター利用団体さん等とコミュニケーションをとり、対象者や内容のバランスも見極めた上でプログラムを実施した。

○集会室で最大限の演出効果が図られるよう工夫した。照明や音響効果のレベルが向上した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○今年も利用者どうし、センターに足を運んだことのない方、地域住民など多様な人たちが交流を図ることができたと同時に、センターの認知を高めることができた。

（2）事業実施による目標の達成度

○集客率は今年も80%を超え、多くの来場者にお越しいただくことができ、概ね目標を達成した。

○いただいたアンケートによると、「とても良かった」「良かった」と回答した人が今年も9割を超え、記述式の回答でも「楽しいイベントでした！！年齢もいろいろ、ほほえましく、楽しめました！」「照明やセットもよくとても楽しく見続けることができました。また来年も来させて頂きます」のような肯定的な回答を数多くいただくことができた。

4 今後の抱負

○障害のある方などより幅広い方に対応できるよう、ハード面の工夫（車椅子用スロープの設置）や運営体制を充実させていきたい。



演劇公演の様子（新緑の文化祭）



合唱公演の様子（春の文化祭）



中学生とその家族による演奏の様子（春の文化祭）

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

**【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 2『市民への聞き取り事業』
(市民活動支援・活性化事業)**

事業の概要

- 1 開催日時：パネル展示：2月13日～2月26日左京西部にて／3月6日～3月18日左京東部にて
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 聞き取りボランティアおよび学生14名／来場者多数
- 4 協力団体等： 大谷大学社会学部 等
- 5 予算：879,700円 / 決算：839,060円

1 事業内容

○錦林市営住宅および、養正市営住宅団地にお住まいの方（以前に暮らしていた方）に聞き取りを行い、それを冊子にまとめつとともにパネルにし展示した。聞き取りのテーマは「思い出の味」。聞き取りにあたっては、大谷大学社会学部の学生や先生等と共同で実施。聞き取りに参加する学生には、聞き取りのための研修としてコミュニケーションワークショップを実施するとともに、聞き取りにあたって現場で指導を行なった。

2 準備段階での工夫

○聞き取りにあたっては学生さんや先生方に協力いただき、地域の歴史（食文化）などを知るきっかけとなることを意図した。また、そうした人たちが地域の方と多世代をまたいで交流できる機会を作れた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○いきいきセンターが立地する地域には地域独特の食文化が育まれてきた。以前はそうした食材を販売する店舗もあったが、現在は団地内にはそうしたお店もなくなり、そうした食文化の存在を知る方も減少しつつある。そうした食文化についての貴重な声をセンターに来られる多くの方と共有でき、知っていただく機会となった。また、こうした貴重な声を冊子に残すことができた。

（2）事業実施による目標の達成度

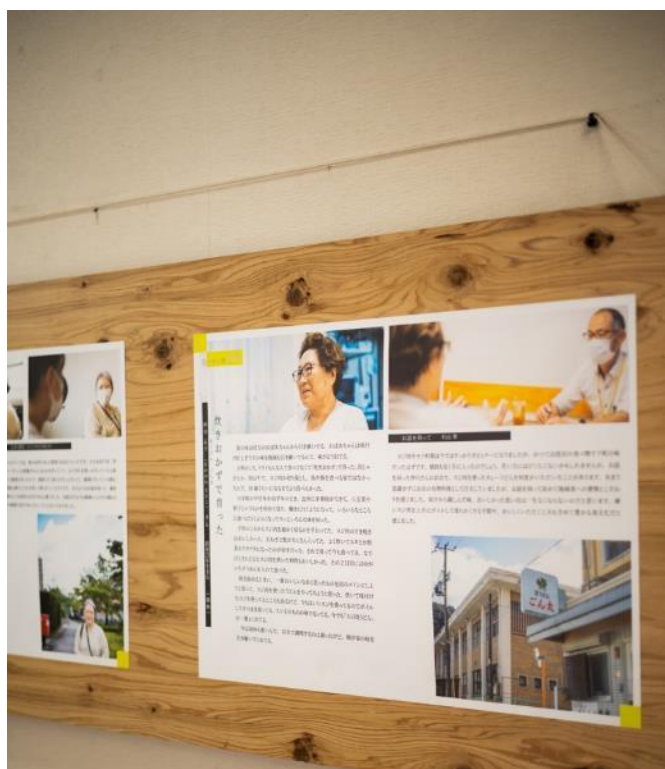
○食文化にまつわる貴重な声を記録に残すことができた点で、十分な達成度が得られた。
○学生さん・先生方には聞き取りにあたって、実際に地域食を試食していただき、実感を持って聞き取りを行っていただいた。「おいしい」という声も聞かれ、かつてネガティブなイメージを持たれることもあったこうした食文化を、新鮮な視点で評価いただけた点で意義があった。

4 今後の抱負

○こうした思い出を語っていただける世代が高齢化しており、こうした貴重な声を残せる時間も限られてきていると感じている。引き続き地域ならではの思い出を記録に留めていきたい。

事業風景の写真

左京東部での展示風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み3 『文化ボランティア育成事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 9月20日：ボランティア募集開始9月～3月：随時面談、登録
ボランティア活動日 10/23、12/23、3/15、16
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 登録ボランティア6名
- 4 協力団体等：
- 5 予算：220,400円 / 決算：220,400円

1 事業内容

○事業の運営を支え、協力してくれる「文化ボランティア」を募集し、当センターが主催する文化関連の事業において受付等の手伝いなどボランティア活動を行っていただいた。SNSやホームページを活用した募集の告知を行い、説明も随時開催した。

2 準備段階での工夫

○公募をかけるだけでなく、いい取り組みをされている団体さんに紹介いただく方法をとって募集をおこなった。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○15名の目標には届かなかったものの、昨年より多い6名の方にボランティアとして活動いただくことができた。

○主に、サロン活性化事業で子供たちが多く集まる際にボランティアをお願いした。複数で子供の見守りができ、子供たちのフォローもできたことで、子供たちも楽しめ、事業が円滑に進んだ。ボランティアの皆さんにもやりがいがあり、満足していただけた。今年は3名の学生さんにも参加いただくことが出来た。

（2）事業実施による目標の達成度

○登録者は昨年より増えて6名となった。

4 今後の抱負

○活動いただく機会をもっと増やし、やりがいを持って取り組んでいただく工夫をしたい。

事業風景の写真

<活動風景>



令和5年12月23日開催の『影絵とアートと交換会』でアートワークショップの補佐をおこなう学生ボランティア。(手前机、正面向き2人)

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』（「影絵人形を作ろう」、「影絵とアートと交換会」）（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年10月13日10時～12時 影絵人形を作ろう 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 130名
- 4 協力団体等： At-Kyoto（交換会運営） 等
- 5 予算：1,058,000円 / 決算：1,055,330円

1 事業内容

○錦林東山学区の社会福祉協議会、錦林保育所と連携して、サロンにより多様な方が集える事業を実施した。高齢者が集って手作業をおこなう『影絵人形を作ろう』および『子育て中の親子の交流事業』として、おもちゃ、絵本、衣服など子供用品の無料交換会を実施するとともに、『影絵人形を作ろう』で制作した影絵の上演、および廃材を使った親子向けアート講座を実施した。昨年は1回の開催だったが今年度は3回開催した。

2 準備段階での工夫

○事業には「文化ボランティア育成事業」で登録してくれた、ボランティアが関わってくれ、地域団体と協力して実施した。

○昨年の好評を受けて回数を増やし実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○高齢者向け講座10名・子育て中親子の交流事業延べ100名の来場者を見込んだ。

（2）事業実施による目標の達成度

○高齢者は目標を下回ったが、来場見込みを上回る方にお越しいただくことができた。

○昨年同様、高齢者から小さなお子さんまで幅広い方がサロンに集まり、交流するとともに楽しいひと時を過ごすことができた。社会福祉協議会や錦林保育所と連携して事業に取り組むことができ、双方に喜んでいただけた。アンケートは今年も非常に好評で回答いただいたほぼ全員の方から大変満足・満足の回答を頂いた。

4 今後の抱負

○昨年より数を増やすことができたが、1回あたりの来場者数は昨年を下回った。今後は来場者をもっと増やしていくとともに、サロンに人が集える環境を整備していきたい。

事業風景の写真

居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』風景
「影絵とアートと交換会」

影絵上演風景



交換会風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】市民の社会関与を促進する事業 取り組み1『市民活動団体活動勉強会』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2023年10月28日～11月20日 複数回ヒアリングおよび取材 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン 等
- 3 参加人数： 映像の視聴者数回数 92回／レポート（冊子）はセンター等で1000部配布
- 4 協力団体等： At-Kyoto 等
- 5 予算：898,000円 / 決算：898,930円

1 事業内容

○子ども用品の交換会やダウン症啓発イベントなど、社会福祉活動をする団体の主催者にヒアリング調査を行い、地域の課題の実情を把握する。また、ヒアリングした内容や活動を映像で記録し編集の上インターネットで紹介するとともに、紙媒体でのレポートも作成し、センター等で配布した。

○「地域で活動する市民の力と出会うことは、その活動を支援していくというセンターとしての重要な役割・機能であるため、今後もこのようなポテンシャルのある市民との接点を増やす取組を期待したい。」という意見に対して、今年度も意欲的な市民と出会うきっかけを作った。

2 準備段階での工夫

○冊子だけではなく、映像で紹介することで広がりを狙った。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

○視聴者数200名を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

○視聴者数は現在92名にとどまっているが昨年もじわじわ伸びていく傾向があったのでそれに期待したい。冊子は行事などでも広く配布している。

4 今後の抱負

○シリーズ化をしており、vol3、vol.4と数を重ねることで広がりをも、視聴回数などもアップすることを目指している。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：7,024,960 円（前年度比 93.7%）

内訳 会議室等：6,869,900 円
付属設備：155,060 円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス（各項目の平均値）

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
44.4%	50.3%	2.0%	0.4%	2.9%

(2) センター独自アンケート

○回収したアンケートの9割以上が大変満足、満足の結果。

3 意見等への主な対応状況

○パイプ椅子が使いにくいのもう少しいのが欲しい。→修繕し使いやすいものを大幅に増やした。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・前年度に引き続き業務の執行体制を合理化することで、前年度に劣らぬ事業を展開できた。

・SNS（主に X）の活用頻度を高め、その反応をほぼ毎週職員で共有した。

○ 今後、解決すべき課題等

・減少傾向の利用の食い止め。

○次年度に向けた対応について記載してください。

利用者の利便性向上

利用者増への宣伝等の取り組み。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

令和 7 年度末に閉館するという話が利用者の間で広まっており、代替の活動場所に対する問い合わせが多数寄せられている。

【締め切り】

5 月 22 日（水）までに地域自治推進室へデータ 1 部＋紙 1 部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17 部又は 18 部）を提出

※ 収支決算書は、5 月 15 日（水）までに提出してください。